

KWC第189回例会

福をもらいに 金澤七福神めぐり



寶蔵院(寿老人)

2016/01/09

日時：平成28年1月9日(土) 集合：京急富岡駅9:45 出発10:00

コース：富岡駅→長昌寺【布袋天】→富岡八幡宮【蛭子尊】→宝蔵院【寿老人】→伝心寺【毘沙門天】
 →龍華寺【大黒天】→瀬戸神社・琵琶島神社【弁財天】→正法院【福祿寿】→京急金沢文庫駅
 18,000歩 13km (伊藤自宅含め23,000歩)

参加者：合計58名 青字は一般参加

- 【1班】大島班長・佐藤伊・五十嵐志・仲S L・藤原和・長井・福士・山下・山口・小田 10名
- 【2班】高塚班長・武倉・五十嵐し・渡辺の・新谷・小山文・清水修・丹後・桑原 9名
- 【3班】木村班長・吉越・常盤・奴田・深瀬・落合・中嶋・小島ま・橋本 9名
- 【4班】中村ゆ班長・吉野・神谷・高橋文・平野・伊藤真・栗田・平林勝・山本・山田誠 10名
- 【5班】伊藤美班長・平嶋S L・戸田・青松秀・小林俊・青松美・市村・志村・加納・加納富 10名
- 【6班】宮野班長・小作・熊坂・佐藤繁・河野・小島重・富樫・伊藤三・奥村・中村年L 10名

天候：快晴

KWC恒例の七福神巡り。今年は世界的に異常気象で暖冬が続き、温かいお正月で今日も快晴下のウォーキングでした。金澤七福神巡りは平成17年1月から公開され、KWCもその時実施されたようです。御迎えの社寺もおもてなしが良く、甘酒、おしろこ、神酒、お茶等々皆さん笑みがあふれ、福を沢山戴きました。途中長浜公園で野鳥観察、金沢緑地から海の公園も通り抜けるコース設定で、自然を味わいながらの楽しい七福神巡りでした。企画・案内の中村L、平嶋S L、仲S L他6名の班長さん御苦労様でした。

今日は富岡駅に到着するなり小島重名レポーターから「今日私は写真撮りません。HP用レポートよろしくお願ひします」と頼まれて、社寺風景を主に撮るつもりでいましたが、ウォーキング状況も撮る必要あり、何しろ大軍団集団写真で各人の御写真無く勘弁願ひます。

【金澤七福神マップ】 京急富岡駅→①長昌寺→②富岡八幡宮→③寶蔵院→④傳心院→⑤龍華寺→⑥瀬戸神社→⑦正法院→京急金沢文庫駅



【京急富岡駅】参加者58名の大軍団、受付資料配布も大変です。 ~宝船に乗りましょう~



①長昌寺【布袋尊】臨済宗建長寺派
天然痘除けの守り神として芋観音があります。



直木賞の直木三十五の墓
スタート寺、甘酒のおもてなしを受けました。



境内では手打ちそば実施中でした。



有名な芋観音



芋観世音縁起
 その昔、富岡の北にある島原に、豊かな水をたたくて一年中芋が豊作の間四方の池がありました。いつの頃からか、この池の中に小さな観音様が現れるようになり、豊作のたがなことから、戦国時代末期、隣の地蔵や村人達により池の近くに観音堂が建てられました。
 この観音様は本来、人々から痛苦を抜き去ってくたさる恵み深い観音様で、お話しすればいかなる願ひこもかなぞられ、また観音堂として建てられたといわれています。
 この由来から「芋観世音」または「芋神様」と尊称され人々から神大の信仰をせられるよになり、二開帳日には近所近のみなさん、江戸や相模の国からも子供を連れお参りして賑わったと古縁に記されています。
 富岡山 長昌寺 芋観音堂



富岡八幡宮公園で集合し、中村年L司会で先ず、吉野会長年頭の御挨拶。中村Lから「横浜金澤七福神マップ」でコース説明と大軍団58名を6班に分け、各班長紹介。一般参加の加納富美子さん紹介。中村L・平嶋SL・仲SLは赤帽子目印です



公園右の緩やかな石段を登ると「富岡八幡宮」です。

②富岡八幡宮【蛭子尊】海上安全・海の守り神。源頼朝が摂津国西宮神社の蛭子尊（ひるのみこと）を勧請。



蛭子（恵比寿）父イザナギの命と母イザナミの命の子で、七福神の中で唯一日本発祥の神様です。

鶴岡八幡宮も長い参拝の列でした。



昔の海岸線の御影を残す入江「船溜り」の傍を歩きます。鷺の御歓迎です！



入江の砂浜を歩く子供 富岡並木地区 公園と並木シーサイドタウン二丁目：昭和56年築 全564戸



遊歩道をしばらく歩くと「長浜公園・野鳥観察園」に到着。



人工潟（汽水池）で池は細い水路で海に繋がっており、潮の満ち引きで池になったり、砂浜になったりする。

カワセミ、ハクセキレイ、サギ、ヒヨドリ、カモ、等々。岸の木の葉っぱが白いのは鳥の糞とのことですが？



11:15 5,000歩ここで昼食は早すぎます。もう少し歩いた石のある丘で昼食11:35~12:00



五十嵐さんから沖縄旅行の説明後、中村L「午後の部スタートしま〜す！」昼からは伊藤先頭組で歩き撮る。



岩の公園でトイレ休憩。ネコちゃんが歓迎してくれ、Hさん話しかけ・・・？御返事反応のない・・・？



③寶蔵院【寿老人】 真言宗御室派 本山は京都仁和寺 鎌倉時代末開基 本尊は大日如来 ↓長寿の神



人の寿命が書かれた
巻物を杖に架け、
もう一方の手には
生命のシンボルであ
る桃を持っている。

④傳心寺【毘沙門天】 曹洞宗 智恵と武勇、戦勝の神 1247年北条時頼開基



ここから見る本堂は屋根のそりが素晴らしい

⑤龍華寺【大黒天】 真言宗御室派 招運開運の神 源頼朝が文覚上人と六浦山中に浄願寺を建立したのが始まり。本尊は大日如来。 本山は京都御室仁和寺 俺に似てるかな～？



本堂にお参り

萱葺鐘樓

梵鐘は県重要文化財



庭の松枝ぶり良く剪定されており見事です ポケ防止観音 4月御室桜、5月牡丹が満開お見事のようにです。

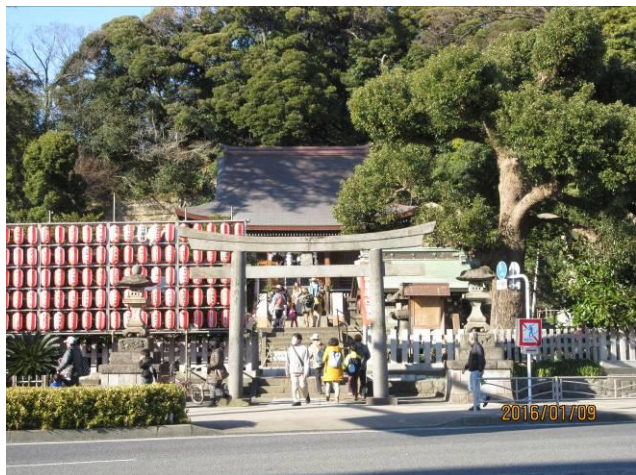


13:50 14,000歩



黄色のスイセン花？
ニッコリ笑顔でお迎え

⑥瀬戸神社・琵琶島神社【弁財天】源頼朝が使用し、北条政子が奉納した重要文化財の舞楽面。琵琶神社は政子が海中に築いた神社。↓琵琶神社から見た瀬戸神社 琵琶神社入口の金沢四石の1つ「福石」中には入らず。



立ったままの姿が珍しい

ケヤキ大木



この角度から見る社殿は最高です。 班別人員点呼して最後の「正法寺」に川沿いを歩きます。

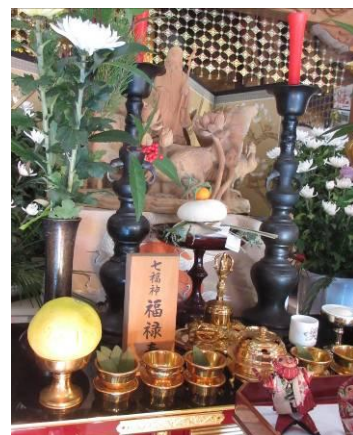


「秋月橋」付近ではカモ軍団と白いサギが、KWC軍団を歓迎。 マンリョウも綺麗に実っていました。



金沢八景、カモが泳ぐ川沿いの御話しながら散歩は気持最高です。最後ゴール「正法院」に向かいます。

⑦正法院【福祿寿】真言宗御室派 弘法大師が掘った井戸から赤い霊水が湧きだして、当時の村人は地下水を利用する知識がなく疫病がはやり、赤水に真言密教を加持しこの赤水で不道明王像を画き護摩の祈禱をしたのが、正法院の始まりだと言われている。家族(福)・仕事・勉強(祿)長(寿)で「福祿寿」



本殿前には大小沢山の福祿寿像が飾られていました。ここで七福神メの祈願をしました。おしるこを戴きました。



天井の模様画が素晴らしい

御庭にも福祿寿像

トップコーンのサービスです



15:00 13,000歩 13km

中村L「此处で解散します、金沢文庫駅はすぐ近くです。アフターに参加される方は案内致します」

【アフターinサイゼリア個室】15:00~16:45 「中村L御苦勞様でした、乾杯！」



我テーブルはAさんに注文お任せ。飲み物はお決まりの生ビールとビックワインです。個室で盛り上がりました。



【七福神の歴史学習】

インドのヒンズー教の神である**大黒**を最澄が比叡山で祀ったのが日本における始まりで、日本の土着信仰の神である**恵比寿**とセットして信仰され、平安時代京都の鞍馬の**毘沙門**を加え、三神として信仰されることが起った。近江の竹生島の弁天信仰が盛んになり、毘沙門天でなく「**恵比寿・大黒・弁財天**」とするケースも増えた。

室町時代、仏教の**布袋**、道教の**福祿寿・寿老人**等も中国から入ってきて知られるようになり、それらを纏めて七柱の神仏のセットが出来たのは室町時代末期。

この頃は銀閣寺に代表される東山文化時代。中国の文化に影響され水墨画が多く描かれた。もてはやされた画題は「**竹林七賢図**」(竹林の七賢人)。江戸時代にはほぼ現代の顔ぶれに定まった。

「寶船の帆」の絵と文字

天海僧正が仁王教をもとに描かせたもの。宝船の帆には上から読んでも、下から読んでも同じ歌が画かれています。

「なかきよの とおのねむりの みなめさめ なみのりふねの おとのよきかな」
「長き夜の 遠の眠りの 皆目覚め 波のり船の 音の良きかな」



今日のスタンプラリー【横浜金澤七福神】完成



編集後記：12/28(月)から一週間小生の三姉妹家族入れ替わり総勢15人のおもてなしで、メタボと気分転換で参加したKWCウォークは快晴の小春日和に恵まれ、平成28年初ウォークは「横浜金澤七福神巡り」でスタートしました。社寺の他に公園、八景島海の散策もあり、最高の散策でした。

今年も健康で楽しく後期高齢者をクリヤー出来る福を戴いたものと信じ、頑張りたいと思います。58名の大軍団の引率案内、地元中村L他平嶋・仲SLに改めて厚くお礼申し上げます。

いつもの拙いボケ防止日記帳「メモと写真」です。失礼な記述や誤記が有るかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。